

しなののうた

善光寺に記帳をしたり幕開けの令和に寄せて新時代請ふ



杉田小百合

しなののうた

天皇の退位の平成送る日は何時とはなしに過ぐる日惜しむ

杉田小百合



しなののうた

笑み浮かべ退位されゆく上皇の手を差し伸べて下がるる眩し



杉田小百合

しなののうた

令和元年五月一日の新聞を読みつつ聞こゆ鶯の声

杉田小百合



しなののうた

新聞に活字大きく「令和」へと元号変はり我も励まん



杉田小百合